



七九殘齡尚壯
 觀光半月
 治川涯
 肩白髮三千丈
 衡西紅塵十二街
 混
 華夷看世交
 憲章文盡與
 特能印
 大笑一
 歸去
 何處
 青山骨
 玉



平成26年度特別展

山田方谷

平成26年

5月23日[金]～6月29日[日]

午前9時～午後6時 (開会初日の5月23日のみ午前10時開館) ※休館日:月曜日



- 1 山田方谷書「七九殘齡尚壯」
明治5(1872)年 個人蔵
- 2 山田方谷拜領刀 江戸時代 個人蔵
- 3 佐藤一斎(七十一歳)像 横橋山筆
天保4(1833)年 東京国立博物館蔵
Image:TNM Image Archives
- 4 佐久間象山像 明治時代 長野市
興出宝物館蔵
- 5 山田方谷肖像 平木政次筆
明治26(1893)年 個人蔵

会場/岡山県立博物館 第1～4展示室
 入館料/大人650円、高校生200円、小人180円、65歳以上320円(5歳未満無料)
 主催/岡山県教育委員会・岡山県立博物館 共催/山陽新聞社
 後援/高梁市・RSK山陽放送・OHK岡山放送・TSCテレビせとうち・RNC西日本放送
 KSB瀬戸内海放送・oniビジョン・(公財)岡山県郷土文化財団

岡山県立博物館
okayama prefectural museum

平成26年度特別展

山田方谷

紙本着色板倉勝静肖像 平木政次筆
写真提供・名古屋博物館

明治二十四(一八九二)年 愛知県西尾市 長圓寺蔵

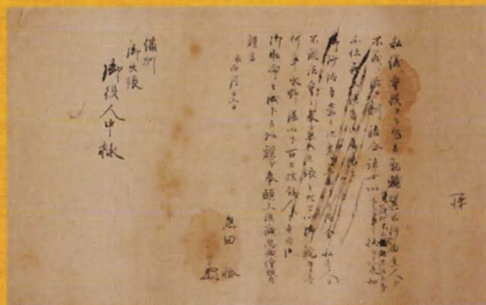
山田方谷は、文化2(1805)年に備中松山藩領西方村(現高梁市)で生まれた。百姓身分の出身でありながら新見藩儒丸川松隠に学び、江戸で佐藤一斎に学んだ。その後松山藩校有終館の学頭となったが、板倉勝静が藩主に就任すると、藩政の中心に抜擢され財政や兵制などの改革に取り組み成果を上げた。勝静が老中に就任すると、顧問となり幕政にも携わった。

明治維新後は、次代を担う人材の育成に力を注いだ。自身の私塾や、再興した岡山藩の郷学閑谷学校などで多くの子弟を教え、地域や日本の近代化に貢献する人材を輩出した。

今回の展覧会では、山田方谷自筆の書簡や漢詩、その他関連する資料等から、激動の時代を生きた方谷の思想や生き方を紹介する。また、方谷に影響を受けた三島中洲や河井継之助など多くの門人たちや、佐久間象山ら親交のあった人々を紹介する。



塵壺 江戸時代 長岡市立中央図書館蔵



熊田恰助命嘆願書草稿 慶応4(1868)年 個人蔵



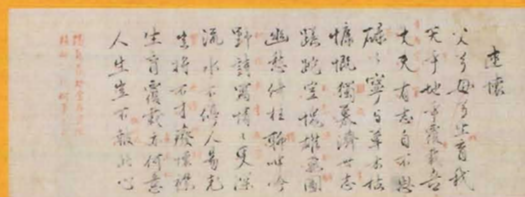
三島中洲東宮侍講時代の写真
明治四十二(一九〇九)年 二松学舎大学蔵



ガトリング砲(模型)
原品:江戸時代
河井継之助記念館蔵



佐藤一斎書幅「盡己」 天保七(一八三六)年 個人蔵



山田方谷14才の漢詩「述懐」 文政元(1818)年 個人蔵



(岡山県指定重要文化財)
橋方藩の砲車
江戸時代~明治初期
浅口市 大浦神社蔵

関連行事

1 記念講演会1

日時:平成26年6月1日(日) 13:30~15:00
講師:河井継之助記念館 館長 稲川 明雄
演題:山田方谷と河井継之助
会場:岡山県立博物館 講堂
定員:180名(事前申込不要・聴講無料)

2 記念講演会2

日時:平成26年6月15日(日) 13:30~15:00
講師:町 泉寿郎 ニシウツカシ 二松学舎大学教授
演題:高弟三島中洲の見た山田方谷
会場:岡山県立博物館 講堂
定員:180名(事前申込不要・聴講無料)

3 学芸員による展示解説

日時:毎週土曜日 14:00~15:00
(事前申込不要・入館料は必要)



交通の御案内 JR岡山駅(東口)から

- 徒歩(約25分)
- 路面電車(約5分)【東山行】城下下車 徒歩(10分)
- バス(岡山駅バスターミナル1番のりば)
岡山バス(約20分)
【藤原団地行】後楽園前下車すぐ

岡山後楽園前
岡山県立博物館
okayama prefectural museum

〒703-8257 岡山市北区後楽園 1番5号
TEL:086-272-1149(代表) FAX:086-272-1150
URL <http://www.pref.okayama.jp/kyoiku/kenhaku/hakubu.htm>

